

旧石器展 一遺跡と発見一

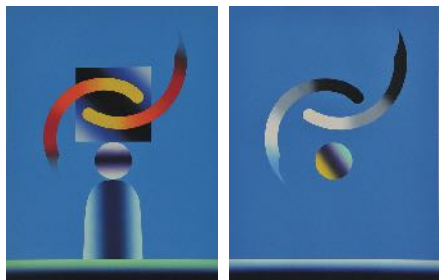


市橋北野遺跡出土品

- 会 期 12.12[土] - 2016. 2.7[日]
- 会 場 企画展示室
- 観覧料 一般 200 円
(20 名以上の団体 100 円)
高校生以下及び
かるちすくらぶ会員無料

明治時代以来、加茂地域の考古学的成果は、岐阜県内はもとより、各地の研究者から注目を集めてきました。そのうちの 하나가、北野遺跡・美濃加茂市、海老山遺跡・富加町に代表される旧石器時代です。学術的な成果を捉え直すと共に、それらの発見や調査に関わり合った地域の人々の姿をふりかえる機会とします。

収蔵品展 TWINS



堀江良一 (左) 組まれた弧 1980年 (右) 舞う弧と球 1980年

- 会 期 12.5[土] - 2016. 1.31[日]
 - 会 場 美術工芸展示室
 - 観覧料 無料
- 美濃加茂市民ミュージアムの収蔵美術品から同じ作家の2点の作品を展示する展覧会です。じっくりと見比べて鑑賞をお楽しみ下さい。

SHOP NEWS ミュージアムグッズの紹介

総合案内横ミュージアムショップにて販売しております。



チケットホルダー 320円
ブロックメモ 580円
フセン 250円
シャープペンシル 280円

新しくなった
シンボルマーク

MINOKAMO CITY MUSEUM

開館15周年にあわせて作成したシンボルマークをデザインにした、新しいオリジナルグッズの販売を始めました。ちょっとおしゃれなグッズを皆様の愛用品のひとつとして、また、プレゼントとして、いかがでしょうか？

■1月・2月・3月の休館日
12月28日～1月4日、12日、18日、25日
2月1日、8日、15日、22日、29日 3月7日、14日、22日、28日

■交通
鉄 道/JR名古屋駅より美濃太田駅まで東海道本線・高山本線
經由特急「ひた」で約40分、駅北口より徒歩約17分
自動車/JR東海環状自動車道美濃加茂ICより約5分、駐車場174台

■あい愛バス
JR美濃太田駅北口より乗車、「文化の森」下車(約8分)
平 日/日本昭和村・富加線(1日3往復)
土日祝日/文化の森公園線(1日7往復)
運 賃/一般 200円 小中学生 100円 未就学児無料
時 刻 表/詳しくは、美濃加茂市ホームページをご覧ください

■ご利用のご案内
開 館 時 間 9:00～17:00
(ただし、施設の貸出し利用は8:30～22:00まで)
休 館 日 月曜日(ただし、祝日の場合は開館し、直後の平日休館)、
年末年始

文化の森ボランティア募集

「文化の森でなにかしたい！」
「ボランティアに関心がある！」
そんな皆様のご応募
お待ちしております。



申し込み方法 直接またはお電話

ボランティア説明会 4/2(土) 10:00～

特 典 みのかも文化の森が主催する他館の視察や見学会に参加できます。
また年4回ほど開催する企画展の解説会に無料で参加できます。

報酬について ボランティア活動を目的として、無償での活動となります。

募集する分野 ※各分野5～10名募集します。

展示ガイド…… 展示室の案内や地域の歴史・文化を調べたり伝えたりしています。
アート……… 美術の分野の講座や美術の企画のお手伝いなどをします。
生活体験……… 主に生活体験館や民具展示館において、昔の暮らしを伝える講座・イベントの案内をします。
学習支援……… 児童生徒が文化の森で学習する際のお手伝いをします。
伝承料理の会… 伝承料理の研究や講座の企画をします。
イベント……… 森のコンサートを中心にイベントのお手伝いをします。

MUSEUM NEWS

vol.80

みのかも文化の森

2016年 1/5発行



BUNKANOMORI EXHIBITION !



鳩吹山遠望

のりづきとしお展

- 会 期 2016. 2.13[土] - 3.21[月]
- 会期中の休館日 2月15日、22日、29日 3月7日、14日
- 会 場 企画展示室・美術工芸展示室

●観覧無料

forum & event

スペシャルフォーラム
「面白いこと」

●日時 3月5日(土)
14:00～15:30

●会場 研修室

●内容

のりづきとしおが自身の絵や制作に対する思いなどを、当館の館長との対談で語ります。講師:のりづきとしお氏、可児光生(当館館長)
参加料:無料 申し込み:当日13:30より受付 定員:42名

森

の観察日記 29

ゴマダラチョウの幼虫(タテハチョウ科)

里山で越冬中のゴマダラチョウの幼虫。食草となるエノキの木の下の落ち葉の中にいました。チョウの中には、幼虫で越冬する種、成虫で越冬する種など様々。生き物にとっては厳しい冬、これから無事に過ごし、春に出会えることを楽しみにしています。

*成虫の標本が常設展示室にありますので、ぜひご覧ください。





事前申し込みについて

はがき(住所、氏名、電話番号、希望講座を記入)、ご来館、文化の森ホームページ講座申込専用フォームのいずれかの方法でお申し込みください。 ■電話、FAXによる受付は行いません。 ■応募者多数の場合は抽選となります。

イベント

minokamo city museum

●日時	●名称	●会場	●参加料	●定員	●内容
1/16(土) 14:00～15:00	第157回 森の朗読会	緑のホール	無料	120名	作品：「しちどぎつね」 たじまゆきひこ/作 「卒業ホームラン」 重松清/作
2/20(土) 14:00～15:00	第158回 森の朗読会	緑のホール	無料	120名	作品：『でも女』より「隣小姑」 群ようこ/作 『30%の幸せ』より「連れあい」 内海隆一郎/作 「うぐいす」 藤沢周平/作
2/21(日) 13:00～15:00	織田信長の東美濃攻略 「歴史PRマンガ」作成事業 報告会・講演会	坂祝町 中央公民館	無料	80名	①資料調査の報告(30分) 富加町教育委員会資料調査担当 ②講演会「織田信長の東美濃攻略について」 講師：古田憲司先生(美濃市史編纂室) 【お問い合わせ先】富加町教育委員会 文化財係 0574-54-2177
～3/13(日)	ていねいな暮らしと 道具展	民具展示館	無料	—	市民のみなさんから寄贈された昔の道具から、人々の知恵や 生活の苦労などを知ります。 学校の学習活動とも連携し、体験しながら学びます。
3/19(土) 14:00～15:00	第159回 森の朗読会	緑のホール	無料	120名	作品：「じゃがいも畑」 内海隆一郎/作 「夕日に続く道」 石田衣良/作

四季を食べる講座

minokamo city museum

ボランティア「伝承料理の会」と一緒にこの地域に伝わる料理を作ります。料理にまつわる楽しいお話も聞けます。【持ち物：エプロン、三角巾】

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
1/17(日) 10:00～13:00	ほんこさま	ほんこさまっていったいどんな偉い人なん でしょう？	当日受付 (30分前より)	生活体験館	300円	20名
2/2(火) 10:00～13:00	手作りみそ	「これ、私の手作りみそなの」と差し出した ら…ちょっと尊敬される気がします…。	当日受付 (30分前より)		300円	
2/21(日) 10:00～13:00	春の押しずし	華やかな押しずしで、一足早い春を感じる おもてなし料理を作りましょう。	事前申し込み (1/17(日)～1/31(日))		500円	

ていねいな暮らし講座

minokamo city museum

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
～1/5(火)	年中行事 門松立て	かつてこのあたりでみられた簡素な門松を 立てます。自由観覧。	—	生活体験館	—	—
3/12(土) 9:30～12:30	春を染める	春の草木で絹布を染めます。親子歓迎。 持ち物：エプロン	当日受付 (30分前より)		1,000円	20名
2/6(土) 4/3(日)	年中行事 ひなかざり	土びなをかざり、野山の花をそなえます。 自由観覧。	—		—	—

アートな1日講座

minokamo city museum

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
1/24(日) 13:00～16:00	針フェルトで作る コサージュ	羊毛フェルトと針でコサージュを作ります。 (対象：小学生以上)	当日受付 (30分前より)	工芸室	500円	20名
2/28(日) 13:00～16:00	体感陶芸	体を使って陶芸を作るワークショップです。 子どもも大人も楽しめます。出来上がった 作品は、後日お渡しします(送付の場合有料)。	当日受付 (30分前より)	陶芸室	1,000円	20名

文化の森15周年記念 早稲田大学連続講座

minokamo city museum



早稲田大学 大隈講堂

美濃加茂市と早稲田大学は、2007年に文化交流協定を結びました。この協定は、美濃加茂生
まれの坪内逍遙(1859-1935)、津田左右吉(1873-1961)両博士との縁によるものです。この協
定にもとづき、秋の早稲田大学学生演劇サークルによる演劇野外公演や展覧会の共催、講師派
遣などを行ってきました。

今回、みのかも文化の森開館15周年を記念し、早稲田大学の先生方をお招きし連続講座を開
催いたします。貴重なお話を聞くことのできる機会です。

■申し込み方法：事前申し込み ■申込期間：12/8(火)～1/13(水)必着 ■参加料：無料 ■定員：40名

※1回のみの参加も可能です。その旨申込時に記載ください。

※定員に余裕のある場合に限り、講座当日先着順に受け付けします。事前にお問い合わせください。

●日時	●名称	●内容	●講師	●会場
1/30(土) 14:00～15:30	河川の自然発生と 情報発信	人と河川のかかわり、河川に棲んでいる生き物との関係について、 治水、利水、環境を切り口としながら考えます。 合わせて河川情報の発信についてもその方法に触れます。	渡辺友美さん (早稲田大学人間総合 研究センター招聘研究員)	研修室
2/14(日) 14:00～15:30	演劇の歴史に おける坪内逍遙	日本の演劇史においても、坪内逍遙は巨人というにふさわしい業 績をあげています。歌舞伎のなかに歴史劇を確立しようとした作 品群を中心に、夢と挫折の軌跡を紹介します。	児玉竜一さん (早稲田大学坪内博士記念 演劇博物館 副館長)	
3/27(日) 14:00～15:30	津田左右吉と 夏目漱石をつなぐもの ー岩波書店における 出版活動を媒介としてー	津田左右吉と百年前に亡くなった夏目漱石は、活動の時期は異な れども、ともに岩波書店と深いかかわりをもっています。歴史学の 泰斗と文豪をつなぐものを、二人の出版活動を通じて考えてみま す。	十重田裕一さん (早稲田大学 文学学術院 教授)	

ミュージアムレポート

みのかも文化の森 15周年を迎えて

みのかも文化の森／美濃加茂市民ミュージアム・教育センターは平成27年10月1日、開館15年を迎えました。

文化の森は、昭和58年(1983年)3月に「市郷土資料館建設基金条例」が制定されたことに始まります。その後、博物館建設予定地の植生や埋
蔵文化財発掘などの調査、全国の博物館の活動を参考にするための調査、展示計画の策定などを行いました。同時に市民懇談会や「市民のた
めの博物館」講座を開催し、博物館利用を念頭においた活動も進められてきました。さらに博物館資料となる民具や動植物の調査収集活動も
ボランティアの手により始まり、今につながっています。

開館15年の記念の年に、文化の森で開催された事業は「開館15周年記念事業」として銘打ち行い
ましたが、新しいことにも取り組みました。ミュージアムのロゴの一新、それをモチーフとしたミュー
ジウムグッズを作成しました。また開館以来の「MUSEUM NEWS」をvol.0から展示紹介しました。さ
らに来館者の方からの「文化の森の思い出とこれからのメッセージ」の募集と展示、生活体験館(ま
ゆの家)では「折り句」を募集、展示しました。

また、10月24日には15周年を記念した講演会を開催しました。「地域博物館がこれからめざすところ」と題し、海老和允さん(美濃加茂市副市長、文化の森建設時には担当課長)、半田昌之さん(公益
財団法人 日本博物館協会専務理事、美濃加茂市民ミュージアム専門委員)のお二人からお話をう
かがいました。

海老さんからは、市民に必要な博物館と位置づけるために自身が取り組んだことに触れ、そして
これからの文化の森にはさらなる市民との協力を期待するとの話をいただきました。半田さんは、
たばこと塩の博物館での学芸員としての経験も踏まえながら全国の博物館の現状を紹介、また国際
的な活動に目を向けることは自分たちの活動を考える視座を得られること、地域の人たちからも大
いに求められる博物館となる必要性について語っていただきました。

みのかも文化の森は今までの蓄積を大切にしながら、次の10年に向かっていきたいと思います。

(MN)



文化の森へのメッセージ



ミュージアムニュース展示風景